

環境安全担当

農作物の安定生産と高品質化を図るため、土壌環境の改善や効率的な施肥に関する技術を開発しています。また、農作物の安全性確保や環境負荷を軽減するための研究を行っています。

- ◆農耕地土壌の実態把握および管理技術の開発
- ◆生理障害の要因解析および対策技術の開発
- ◆新肥料・資材の利活用に関する技術の開発
- ◆農作物の安全性確保に関する研究
- ◆農薬残留対策・河川中農薬モニタリング調査



生産現場で問題となっている生理障害への対応
(発症要因の解明と対策技術の確立に関する研究)



農耕地の土壌調査



河川中農薬モニタリング調査

病害虫研究担当

問題となっている病害虫の発生生態を解明し、いち早く防除するための技術を開発しています。また、環境に配慮した総合的な病害虫管理技術や調査手法の開発などの研究を行っています。

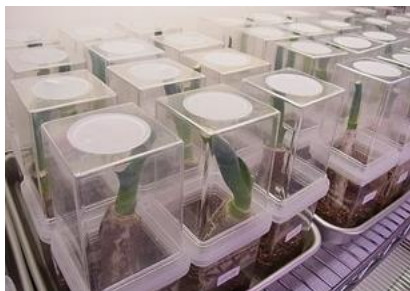
- ◆新病害虫・難防除病害虫の防除技術の開発
- ◆総合的病害虫管理（IPM）技術の研究
- ◆病害虫診断技術・調査技術の開発
- ◆新農薬・資材の効果判定
- ◆病害虫診断および防除指導



現地での防除効果試験



新害虫ネギネクロバネキノコバエによるネギの被害



被害発生確認試験

鳥獣害防除担当

鳥獣による農作物被害を防ぐため、県内で問題となっている野生動物の生態を調査・解析し、農地への侵入防止対策や、個体数管理などの技術開発を行っています。また、開発した技術を速やかに現地へ普及するための研修会などを実施しています。

- ◆野生動物モニタリング調査
- ◆野生鳥獣による被害防止技術に関する研究
- ◆野生動物管理に関する研究
- ◆被害防止のための啓発・指導



アライグマの捕食行動を利用した
専用捕獲器「ラクーンキューブ」の開発



中型動物とイノシシに対応した侵入防止柵
「楽落くん」



電気柵の設置実習

病虫害防除対策担当

県の病虫害防除所として農作物に被害を与える病虫害を調査し、生産者や市町村等に情報を提供することで、的確な防除を推進しています。また、農薬取締法に基づく農薬販売者の届出受理や立入検査、生産者に対する農薬の適正使用指導、肥料取締法に基づく製造事業所の検査や県が管轄する肥料に関して各種手続きを行っています。

- ◆病虫害の発生予察
- ◆植物検疫病虫害の侵入警戒調査
- ◆新規病虫害のまん延防止と防除指導
- ◆農薬販売に関する事務と農薬の適正使用指導
- ◆肥料・飼料の検査・指導・公表
- ◆普通・特殊肥料の生産・販売に関する登録・届出事務



害虫発生予察灯（水田）



立入検査の様子（試料収去）